

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月20日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年5月25日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ジョージア大学(日本語名) University of Georgia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:8 月中旬 12 月上旬 2 学期:1 月上旬～5 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 40000 人
創立年	1785 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため明治の学費のみ
宿舍費	\$7600	1,026,000 円	
食費	\$4000	540,000 円	ミールプランに加入
図書費	\$500	67,500 円	
学用品費	\$200	27,000 円	
携帯・インターネット費	\$230	31,050 円	Mint mobile の e-sim を現地で購入
現地交通費	0	0 円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	\$500	67,500 円	
医療費	0	0 円	
保険費	\$2400+明治の保険	424,000 円	形態:ジョージア大学+明治の保険
渡航旅費	\$3464	460000 円	
ビザ申請費	\$367	50000 円	SEVIS 費用、郵送料も含む
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$19,948	2,693,050 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田 目的地:アトランタ 経由地:	
復路 出発地:アトランタ 目的地:成田 経由地:サンセ*	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Delta 料金:340000 円(時期が悪くここまで高くなってしまったが、通常は 20-25 万円程で購入できるはず) 復路 航空会社:Delta, Zipair 料金:アトランタ→サンセ*(Delta):48000 円 サンセ*→成田(Zipair):70000 円 ∴合計:約 46 万円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:航空会社の公式ホームページ)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:East Campus Village) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 ※個室だが3人のルームメイトがいる。リビングとキッチン(レンジのみで基本料理はできない)を全員で共有、バスルームを1人と共有。)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先大学から寮を希望する場合はフォームを提出するよう言われ、その後自動的に部屋をアサインしてくれた。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

例年交換留学生在が滞在先のECVという寮は、全員個室が割り当てられるため一人の時間を確保できともおすすめです。リビングやバスルームをシェアするルームメイトがいるため、さみしくなることもありません!(笑)

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

オリエンテーション中に危機管理のアプリの使い方や、基本的な気をつけ方(夜に一人で出歩かないなど)について学ぶセッションがたくさんあった。オンキャンバスは基本かなり安全だが、夜はあまり一人で外を歩かないようにしていた。犯罪に巻き込まれたことはない。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮含め大学中にwifiが通っているので、ネットに関して困ることはほぼない。現地でMint mobileのe-simを購入し、そちらも問題なくスムーズに利用開始できた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的には日本のクレジットカードを使っていた。念のため日本から現金も持っていき、現地で口座を開設して入金した。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基本的に現地で調達できないものはない。薬やスキンケア用品など自分に合ったものがある場合は日本から持っていった方が良い。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:人気の学部は取れない授業がいくつかあった。留学担当の方が、特に人気の Terry と Grady の学部で、留学生が取れる授業の一覧を送ってくれた。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Advertising (ADPR 3100)	広告基礎論
科目設置学部・研究科	Grady college
履修期間	Fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Nate Evan
授業内容	広告論の基礎について、実際の広告を例に制作から効果測定まで一連の流れを学ぶ。
試験・課題など	計 3 つの試験と 6 つのエッセイ等の課題、最後のグループプロジェクトがあった。
感想を自由記入	教授がエンターテイナー感万歳で、まさにアメリカの授業!という雰囲気を感じた。学期末のグループプロジェクトは少し苦戦したが、広告に興味のある人は絶対に受講すべき。またこの授業はさらに上のレベルの広告の授業を取るための受講必須科目。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Relations (ADPR3850)	パブリックリレーションズ
科目設置学部・研究科	Grady college
履修期間	Fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Michael A. Cacciatore
授業内容	日本ではあまり馴染みのない PR という分野について、広告やマーケティングと差別化しながら詳しく学ぶ。
試験・課題など	計 4 つのテストがあった。課題は毎回のリレーティング。
感想を自由記入	最初のテストはひどい点数を取ってしまったが、その後勉強方法などに慣れてきて挽回できた。先生は面白く親切で生徒からも人気だった。スピードが速く内容が盛り沢山だが、そのスタイルに慣れると後で楽になるので取ってみると良いと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Ecological Basis of Environmental Issue (ECOL1000)		環境問題と生態学基礎	
科目設置学部・研究科	Ecology		
履修期間	Fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Krista Capps		
授業内容			
試験・課題など	試験は計4回。週に数回オンラインラーニングを使ったクイズ式の課題とリディング。		
感想を自由記入	先生がとても熱心で、授業は少し早いもののいつも授業のやり方を工夫してくれた。試験は難しい回もあったが、スライドの復習とリディングも徹底したらかなり良い点数が取れる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Natural Resources Conservation (FANR1100)		自然資源の保全	
科目設置学部・研究科	Warnell School of Forestry & Natural Resources		
履修期間	Fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Joe Dahlen, Jay Shelton		
授業内容	環境問題、自然資源の適切な管理方法、ツーリズムマネジメントなど幅広く学ぶ。		
試験・課題など	計3回の試験と授業内課題やグループワークもたまにあった。課題は毎回のリディング。		
感想を自由記入	内容が難しいことも多く理解するのに苦労したが、先生がとても親切に質問に答えてくれた。試験もかなり難しく、良くない点数を取ってしまったこともあったが、授業には毎回必ず出席ランダムで出される課題でポイントを取れるようにした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Brand Storytelling (ADPR3110)		ブランドストーリーの作り方	
科目設置学部・研究科	Grady college		
履修期間	Spring semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数クラス(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Kirsten Strausbaugh		
授業内容	様々なプロジェクトを通して実践的な広告作りやアイデアの作り方などを学ぶ。		
試験・課題など	試験はなく、大体週に一回個人またはグループのプロジェクトがある。		
感想を自由記入	クラスに15名ほどしかおらず、初めての少人数クラスだったためとても緊張していたが、たくさん悩んだ分成長できた部分も多かったように感じるので受講して本当に良かった。先生は面白くとも生徒思いで、相談するといつも親身に聞いてくれ、アドバイスをくれた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Media, News, and Consumers (JOUR3030)		メディアとニュースと消費者の関係性	
科目設置学部・研究科	Grady college		
履修期間	Spring semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Kirsten Strausbaugh		
授業内容	メディアの歴史、メディア経済、ジャーナリズムの倫理などを通してメディアのあるべき姿を学び、メディアに対してクリティカルでいる消費者になることを目指す。		
試験・課題など	試験は計3回(4回目はオプション)、定期的にニュースのクイズ、課題はリーディング		
感想を自由記入	この授業も先生が本当に親切で面白く、内容もそこまで難しくないためいつも楽しんで授業を受けていた。生徒からも大人気で、学期末にはスタバカードなども当たるラッフルゲームもした。テストもある程度勉強したら90点以上取れる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Design and the Environment (LAND1500)	デザインと環境
科目設置学部・研究科	College of Environment + Design
履修期間	Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	David Spooner
授業内容	建築物が人間や自然環境にもたらす影響や、理想的な建築デザインについて学ぶ。
試験・課題など	試験は計2回、その他定期的クイズとエッセイ課題などがある。
感想を自由記入	定期的にあるクイズで良い点が取れず苦戦していた時期があり、第二言語で5分間5問答えるのが難しいと素直に教授に相談したところ、状況を理解してくださり回答時間を伸ばしてくれた。内容も大変興味深く、日本の建築物が良い例としてたくさん紹介されていていつも嬉しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Marketing (MARK3001)	マーケティングの基礎
科目設置学部・研究科	Terry college
履修期間	Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Kimberly Grantham
授業内容	マーケティングミックスなど基礎的なマーケティング論を実際の企業の例とともに詳しく学ぶ。
試験・課題など	試験は全部で3回(4回目はオプション)、課題は必須のリテイング
感想を自由記入	毎回スピードがとても早く、初めの頃は苦戦していたが、内容が興味深く教科書も分かりやすかったため少しずつ慣れた。テスト対策にも当初は苦戦していたが、授業でほぼ毎回行うクイズで要点を捉えることで改善されていった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
現在就職活動中で、コンサルティング業界に興味があります。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
渡航時は2年生だったので、正直就職のことはそこまで考えていませんでした。帰国後に就職キャリアセンターによる留学経験者向けのセミナーやグループディスカッション練習会、また東京キャリアフォーラムにも参加しました。留学中は海外の大学院進学も本気で考えていましたが、一度就職をして経験を積んでからその時の自分に必要な知識を得るために大学院に行きたいと考え、卒業後まずは就職を考えてます。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	明治入学、TOEFL 対策の授業を履修
	8月～9月	TOEFL 勉強、TOEFL 受験
	10月～12月	TOEFL2 回目の受験、学内選考出願→通過
留学開始年	1月～3月	留学先からの入学許可→手続きを進める
	4月～7月	手続き、VISA 取得、予防接種など
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由としては主に、①TOEFL の点数が自分と合っていた ②勉強したかった環境学と広告の授業が豊富にあった ③自然豊かで広大なキャンパスに惹かれた の 3 つです。この留学先は第一志望でしたが、実際に行ってみて本当に良い選択をしたなとつくづく感じます。大好きで安心する友達と出会えたこと、そしてその関係を異国の地で作り上げることができたことに、感動と感謝の毎日でした。今すぐにでも戻りたくなってしまいうほど(笑)、毎日がキラキラして充実している最高の経験となりました。

近年は留学の促進や形態・プログラムの多様化により、留学に誰もがチャレンジしやすい時代になりつつあります。ですがだからこそ、その体験に自分だけの自分だからこそ達成できる「目的」を見出し、付加価値をつけることが何よりも大切ではないでしょうか。一見難しく感じるかもしれませんが、自分の周りにあるワクワクするものを探してみてください。好きな音楽、スポーツや映画など、身近なところに「自分だけの目的」が見つかるヒントが意外とたくさん転がっていると思います。そのワクワクさえ持ち続けられれば、留学を実現したいという気持ちが大きな原動力となるはずですよ。

留学を目指すにあたっては、予想していなかった意外な壁に衝突することもあるかと思いますが。私もまずは TOEFL の難しさ、留学報告書の作成、やっと学内選考に通過した喜びはつかの間、その後の数々の手続きの忙しさや漠然とした不安に襲われ、ストレスを感じることもありました。しかし、今振り返ってみると、意外となんとかなるものです。(笑)少しのミスは、長い目で見ればミスなんかではありませんし、「まあどうにかなるでしょ」とどっしり構えることも、当時の私には必要だったと今は思います。また留学前の情報収集はもちろん欠かせないのですが、ある程度準備ができた後は渡航後のハブニングを楽しみながら、その都度臨機応変に対応する力も不可欠だと私は思います。全てを把握しようとしなくても大丈夫ですよ、知らないで自分で探る楽しさもあつたりします。(笑)
心配しすぎず、なんでも楽しんで、その「ワクワク」を忘れないでください!

長くなりましたが、皆さんの留学に少しでも役立てたら嬉しいです。ちょっとしたことでも質問などあったらいつでも連絡をください。事務室の方を通じて私の連絡先を伝えてもらえると嬉しいです。
一緒に自分だけの最高の留学を作り上げましょう!!